

山陰の旅

井上西二

【いのま】

益田に浜田・江津市や
国守きの柱とされし山といひ
（）

稻佐浜は國譲り

主命の伝説地

隆起海食台の日御崎

東洋一の灯台は

四十三灯の高さにて

眺望絶佳岐島

沖合に遙か浮びけり

出雲大社の建築は

東洋一の灯台は

文化

(第三種郵便物認可)

第146号

天守閣のみ残る所
外観五層内（うち）大階
白壁は一部に残る大部
黒漆板にておわれたり
建物の失せる城の多き今希少価値ある桃山遺構
ドジョウすいの安楽市や
大山町は前町
スキー・登山も客多し千代川（せんだいかわ）を中心
天神川畔に発展
世界に知れずジウム泉
日本一の含水量
南北二ヶ（が）鳥取砂丘
キニーリー祭を行なわる東より坂・海士（あわの）・湖
古代文化の中心地
倉吉にほ三朝（みささ）の温泉
山（じやま）へと
十六ヶ（く）に展開す
日本一の含水量
天神川畔に発展
西の湖口は白兔
神話に知る所なり
感触やわに赤味おび
風に吹かれて美しき
多様の風紋描く砂
じこかじこ摺鉢ありて三十余砂丘を出て宮津まで
始めは海岸走りしが
底に清水の湧くもあり
西瓜にメロン・葡萄など
潮風避け栽培す
多様の風紋描く砂
じこかじこ摺鉢ありて三十余市では土台の板壁、屋根などを原
形どおり復元、地元の保存会の
手で屯田兵時代からの農具や日誌
などを展示
新しい中斷とする。

市では土台の板壁、屋根などを原

形ど